

題名：横浜労災病院で造影 CT を受けた患者さんへ

当院では、下記の臨床研究を当院倫理委員会の審査を経て病院長の許可のもと行っています。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、あなたの診療情報や検査などで残った検体の下記の研究への利用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして研究に利用させていただきます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用するまたは提供されることを希望されない場合、また研究に関する質問等ございましたら、下記に記載している問合せ先へご連絡下さい。利用を希望されないことが今後の診療に何らかの影響を与えることは一切ありません。

研究課題名 (承認番号)	血液浄化療法における脱血不良原因の検討～血管構造の観点から～ (-)
当院の研究責任者 (所属)	西村 優一 横浜労災病院 臨床工学部
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	血液浄化療法を施行する際の一時的なバスキュラーアクセスとして、非カフ型のバスキュラーアクセスカテーテル(NCC)が用いられます。NCCの最大の問題は吸引口が血管にへばりつくことで発生する脱血不良です。頻回の脱血不良は回路凝固の原因となり、治療効率低下や失血を引き起こすため、吸引口のある先端をどのポジションに留置させるかが重要です。しかし、NCC挿入の第一選択部位である右内頸静脈においても、各ガイドラインによって先端位置の推奨は異なり、右内頸静脈以外に関してはより未確立となっています。本研究では、NCC先端位置となり得る上大静脈、腕頭静脈の血管構造の個人差を調査し、解剖学的観点から脱血不良の軽減が可能か検討することを目的としています。
研究の方法 (利用する試料・情報)	研究実施期間： 2025年8月～ 2026年12月 当院にて造影CT検査を受けた患者さんが対象となります。
利用する試料・情報の 該当期間	2022年1月～ 2026年12月
試料・情報の他の 研究機関への提供 および提供方法	なし
個人情報の取り扱い	利用する試料・情報から、氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報情報は削除いたします。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

お問い合わせ先	電話：045-474-8111(代表) メールアドレス：kenkyu@yokohamah.johas.go.jp 担当者：西村優一（所属：臨床工学部）
備考	